滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

料　一ヶ月以内…
一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）
…Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

…銀價…五吊四百文至五吊
…共上高三十餘輛
…共來七十餘輛
元寶六吊九百至六吊八百

一連紙　一連　一圓
一フールスカップ仝　仝　四圓
一中判洋紙　百枚　二圓
一半紙野紙　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一椅子…
一箪笥　三十圓以上…
一卓子　四圓五十錢以上十五圓
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

告示

大日本帝國營口監督與倉

出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示

右諭通知

明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

横濱正金銀行牛莊支店

賣捌並廣告取次所

大連市穩[illegible]町三百三十八號　日華運輸公司
大連市盤城町四十九番地　岡野新聞舖
奉天大南門内景祐宮胡同　全泰號
遼陽　遼陽倶樂部　谷口今朝太郎

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請親臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋緞鐵表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屢臨爲幸

運輸部

運般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此外以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一六三

明治火險公司

三井洋行經理

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十八番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋廣雜貨並兼代客經理買賣租船裝運事宜營口東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲和便匯貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有駁船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物者價格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　經理人　葉亮卿謹白

東永茂

本號油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房豆餅及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各省南北客商經理有年誠信相孚遐邇知之　正經理事王玉田　副經理事金銘魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈　營口西大廟街路北營乙第十三號

元茂盛

油坊買賣元豆豆油豆餅雜色糧石以及代客賺辦雜貨布疋一概發行裝運沙衛鴉船交易南北客商歷有年矣爲此謹白　開設營口西街老爺閣前路北營乙第四十九號

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒利）百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名[illegible]以之築造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧急之需　局本主人啓

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

松茂洋行

淸酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部　河岸通（電話五十二番）

島田洋服店

東營口郵便局東隣　●島田洋服店●
新民屯停車場前　●同支店●

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄但し入院を諾す（取扱主任産婆大島しげ子）

院主　森　鐵
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克已、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町　藤原蘊啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面關是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重要不欺且運費裕外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知

新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本局
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社
牛莊支店（電話六十八番）

電氣諸機械

大販賣
本店　天津日本租界電話二〇〇
支店　營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部（電一五四番）
主任　朱牟田寅吉

自造　煉瓦　瓦
幷ニ各種石材販賣
營口青堆子　加州組

東京電報

●奉天役戰功者叙勳 奉天戰爭に於ける殊勳者三萬人に對し近日夫々叙勳の沙汰あるべし

●郡制廢止案提出 郡制廢止案議會に提出されたり

●町村制改正案 町村制改正案昨日衆議院に提出さる

●練習艦出發 特別練習艦姉川丸近日南下其途次大連へも寄港の筈

●南洲翁故跡訪問 コンノート親王殿下には鹿兒島に來遊せられ西郷南洲翁等の故跡誕生地を訪問されたり

●太后の宣教師保護 西太后は軍機大臣に命し外國宣教師の保護を嚴にせしめ若し之れを怠る者あらは嚴罰に處す旨命令ありしと

●趙將軍等の上奏 趙將軍は吉林黑龍江二將軍と連署して滿洲商人協同の滊船會社設立に就き上奏したり

●陸相と二年兵役 寺内陸相は議會の質問に對し步兵は在役二年にて十分なりと認むれば法令の範圍内にて改正實施するの方針なりと答辯したり

●從軍徽章受領數 今回の從軍徽章を授與せらるゝ者百二十萬人に上らんと

(以上三月六日發電)

倫敦電報

●モロッコ會議の銀行案 アルジェシラス會議は委員の手に成れる銀行案を採用せり、該案は獨佛兩國并にモロッコ國より提出せる三案を折衷せるものなれば要點に於て未た完全せざる所多し是等の諸點は更に會議に附せらるべき筈なり

●警察權問題の提議 ニコールソン氏はモロッコ會議に於て正式に銀行案を議しつゝある間に月曜日を以て委員會に於て警察權問題を考究すべしとの提議を爲せり、獨墺兩國及びモロッコ國の代表者等は此提議に反對せり

●英國軍艦の坐礁 英國巡洋艦ドネガルは清國に向ふ途次スエズ灣に於て坐礁せしか曳船等の助力に依り再び浮揚りたり

●英京の日本饑饉救濟 倫敦のマンシヨン、ハウスに於て日本饑饉地方救濟の爲めに寄附金募集を開始せしがマーカス、サミュール氏は率先して一万圓を寄附せり

●弗律賓の關税修正 米國上院は非律賓群島の關税法を修正して歐洲製綿布輸入税を增課すべき案を握りつぶして消滅せしめたり

(以上四月四日發電)

●モロッコ會議終結の期近づく アルジェシラス會議は終に英國代表者ニコールソン氏の警察權問題に關する提議に同意せり、同會議も今や終結の期に達したれば諸問題の解決せらるゝも亦た遠きにあらさるべし子爵ベノスタ氏は辯說爽かに和衷協同の必要を說けり

●倫敦株式取引所の救濟義金 倫敦マンシヨン、ハウスに於て開始せる日本饑饉地方救濟の寄附金募集に對し同市の株式取引所員は十萬圓の寄附金を申込みたり

(以上三月五日發電)

雜報

●鐵道經營上に印したる日露政策の幻影(承前)

在仁川 小川柳坡

東清鐵道は今軍隊輸送に忙殺せられつゝあるに係わらず、我當局者は去臘中より一列車を一日一回つゝ公衆用の爲に運轉しつゝあり、又各主要なる都市は漸次開放せられ、本月十日開原昌圖撫順開放せらるゝに及んで、今や占領地區内殆んと邦人の居住は許可せられたるを以て、各停車場ある驛には邦人の在住者あらさるなし、遼陽奉天鐵嶺の如きは家屋の缺乏せるに係わらす、續々人口增加し土人の矮屋改造して旭旗の下に營業しつゝあり、其人口の流動移轉と營業の多くは不生產的なるは免れさるの數なり、然れとも我國人移住の急激に增加する戰爭的影響を受くるとは云へ、恐らくは他國のなき現象ならんか、

我國民と露國民は同しく國旗の影に從ふて他國に進擊移住し、英國人の如く個人的に移住して利權を植へ國家の保護を請ふに至ると自から異なるも、之れ一に國民風習の相違にして、必しも是非するの要なし、支那人も個人的に移住して社會を組織する毫も英人に劣らす、只國家の彈力の弱き差あるのみ、露國民や能く國政策の後に從ふて移住するも、國家に對する彈力なきは我國民と異なれり、我國民は國の政策に誘われて最も順良に發展するを見る、京釜鐵道の沿道悉ゝ我國人の新村落新市街と化し、京義線も漸々日本人の着實なる移民を見るに至りぬ、然れとも、其始めは不生產的醜業婦等の天地にして、次第に彼等の前進と共に眞個殖民は其後に從ふなり、今安東以南は既に眞面目の移民にして、以北は未定否移動的移民の天地と見さる可からさるも、余は五年の後は鐵嶺以南は確實なる日本人の鐵道沿地に移住して新村落新市街を爲す可きを疑はさるなり

如何となれは我國の鐵道經營は、頗る經濟的にして商工業に注目を拂ゐつゝあれはなり、特に鐵道線路を奉天に集注し、政治上、東京、京城、奉天を近接せしめて近く北京に結ふは、我國交上の便宜のみならす、經濟上亦極めて緊急の事に屬す、軍事上の必要より京義線を奉天に連絡したるは、當局の眼識ある處致と云わさる可からす、進んで遼河を渡り新民廳に連絡するに至りしは必然の結果なり、

我國の當事者か營義線を撰はすして、安東奉天を以て東清鐵道に連結したるは、軍事上の必要に促されたるとは云ひなから又經濟的眼光を有せしものと認めさる可からす、余は卅七年中軍事上の必要より安東經馬集懷仁朝陽より吉林に通する線路敷設すら必要を論したり、之れ一は軍事上の必要とは云ひなから一面は戰後我か國民の商工業發達の素を爲さしめんか必要なりしも、其鐵道經營上の不得策は奉安線に十倍するは勿論なり、(別々の理由と遠き將來を別問題として)奉安線の經過する地は山又山の險惡地にして市街らしき地は、鳳凰城東溝湖に過きすして、其他は寒村小屯の散在するのみなり其鐵道經營上不利益たるは勿論なるに如何なれは、當局者を眼識ありと云ふか、之は別に韓滿鐵道政策の大体より觀察せさる可らさる問題なり二誰云ふ大連灣は露國の有にしてこそ有望なり、我國の領有に因りて其代價を減するとの之は短見者流の妄論なり、近來東西兩洋の近接と共に英米獨の航海者は盛に大船舶を建造して亞米歐濠の連絡を企圖し「ミネソタ」「ダコタ」の如き巨船に既に東亞に航海し來るにあらすや、大船の來航は大港灣の設備を要求する者なり、我國の港灣果して大連(租造にもせよ)の如き大規模の港灣ありや、今日に於ては否と答ふるの外なかる可し、然らば將來西比利亞鐵道と東清線の連絡成らは、歐洲より來る貨客の玄關口たる良港灣は大連を第一とせさる可からす、大連は東洋に於ける唯一の海陸連絡の重要地點たらしめさる可からす

然れとも顧みよ東清線の本線と浦鹽とは露國の手に在り、露たるもの大連を失ふ上は、必すや極力浦鹽の繁榮を計り、經營に餘念なかる可く、大連と浦鹽の競爭は今日より明白なり、而も南には膠洲灣ありて獨逸の極力商權の擴張に從ふ可く、浦鹽にある獨逸商人と相應して我か商工業者の勁敵たるあり、大連は如此浦鹽と相對抗し、又膠洲灣の游軍と戰はさる可からさる運命を有せり、之れ大港灣たる要素を有して爭はさる可からさる外敵なり

其外歷史を有して遼河口を扼する營口あり、南に近く芝罘あり、東は安東大東溝其胞核を脅かすあり、此内敵又侮り難く、芝罘の如きは施政の如何に依りては之を制する難からすと雖も、營口安東の淸商や根深葉茂豈に能く一朝にして其繁盛を削て大連を肥し易からん、於此か大連は別途の方法を以て獨立し、先つ外敵を防き漸次近敵を騙むる所謂親近攻遠の計を爲さゝる可からず(未完)

東西南北

●同胞俘虜の感狀 善通寺にては去る二十五日同胞俘虜騎兵下士二名兵卒十四名の審問を行ひたる結果何れも無罪となれるが其中の軍曹與は忍氏は東鄕少佐に附隨し居たる者の由にて勳功拔群の廉を以て翌廿六日奥大將より感狀を受領し同日曹長に昇進せりと

●官線三等食堂車 鐵道作業局にては來る四月一日より午後八時を以て新橋と神戶の双方より三等急行列車を運轉せしめ同列車には和食調理の食堂車を聯結する事とし同食事時間は恰も朝餐なるを以て輕便を主とし一人前一菜一汁の飯付二十錢と定め酒類は瓶詰を販してコップ賣となし尙ほ暑中には同食堂車内に冷造室を設け生ビールのコップ賣を試むる由

●韓國邦民の敎育 韓國居留民の敎育は到る處普及せざるなく特に釜山仁川元山等の如きは内地に劣らさる設備あり釜山に於ては本年四月より商業學校及び高等女學校を新設する由にて統監府より幾分の補助を與ふる筈なりと而して小學校を終て內地の中學校に入學する者年々三十名內外あり早晚中學校をも新設すべき計畫なりと云ふ

●統監渡韓の扮裝 伊藤統監渡韓の途次大廟に參拜したるが統監其日の扮裝は金モールに朝日の徽章の着ける大黑帽を眉深に被り服は同じく新規制定の統監服銀ボタンと金モールに飾られたる詰襟の背廣を釦け漆皮附けたる黃金作の劍を佩さたる處天晴れ韓國の副王と見事りたるが殊に白き疎髯さへ奇麗に剃り落せる爲め著しく若返りて見えしぞ滑稽なりしとぞ

●紀念該車券贈與 鐵道作業局にては今回御來朝ありし英國コンノート殿下御召艦ダイアデム乘組將校下士優待の爲め將校には一等下士には二等の鐵道乘車券を贈與することゝなりたるが該券は日英兩國旗を地にして中央に乘車券の文字及び乘車區間の英文等あり乘員は之を持ち歸へり永く紀念として保存すべく關係各驛にては改札の際改鋏又は集札をなさすといふ

●三井の傷病慰藉 三井家にては凱旋軍隊歡迎會を開かんとしたるも歸鄕兵士等多くして十分其意を達するを得さるより已むを得す金二萬圓を寄贈し寺内陸軍大臣に懇囑して全國の各傷兵を慰藉することゝなしたるより陸相は今回第一師團乃至第十二師團各營下及び臺灣、樺太にある各病院の各患者へ分配したりと

●臺灣の浮浪取締 臺灣總督府に於ては浮浪人の取締を勵行し彼等を指導して生業に就かしめんとの方針にて先頃來佛蘭西及び白耳義に於る浮浪者矯正に關する規則を參酌しそれ〲調査中なるか不日律令を以て發布すへし

●窮民の出稼割引 山陽鐵道會社にては福島縣下凶作窮民にして九州地方其他へ出稼するものに對し福島縣廳の證明書持參のものに限り神戶驛より各線各驛行(除讃岐線)三等に限り乘車賃五割を低減し去る三月一日より實施したる由

●在米同胞の發明 岩[illegible]某と云へる人は今回米國に於て潜水器を發明したるか該器械の特長は送氣喞筒の非常に好良なるに在りと云ふ

●營口流通貨幣の相場 昨日の相場を聞くに即ち左の如し

(一)銀券(軍票)一圓に付き過爐銀七匁六分六厘而して加色は七兩四匁也(但し加色は五十三兩五匁に付て也)

(二)過爐銀五十三兩五匁に付き小銀貨七十一圓廿錢

(三)過爐銀一兩に付き小錢八吊百八十文

(四)銀券(軍票)一圓に付き小錢六吊文因に銀券は昨年九月頃に比較すれは過爐銀一兩に付き優に六朱以上其の相場を高め居れりとなり

●郵便爲替の昨今 近來受入ば甚た減少し其反對に拂出は頗る增加し郵便局に於ては往々にして拂出し資金に不足を覺るの常なりしに昨今に至り更に引受の數俄に增加しだりと云ふ即ち一昨日に付て之を見るに其引受は口數の總數に於て六十に上り金高に於ては一万餘圓に達したり而して拂出は口數に於て二十前後、金高に於て六七百圓內外也更に昨日に付て見るも其引受と拂出の比例は又一昨日と大差なしとなり局員の談に引受の最も多かりしは卅七年の二三月頃より卅八年の九月頃迄にて其後は漸次拂出の增加となり以て今日に及ひたるに昨今更に引受の數額を增加せしは寧ろ奇と謂ふへし蓋しこれ野戰地方より歸鄕する酒保等の送金する者ある爲乎云々

●綿布の近況 綿布は在品甚た多量なるに賣行捗々しからされば其商況は益々不振也從て相場は常に下向きの氣味なるも昨今の所は先ず左の相場を以てためやい居れりと云ふ

米國品一等(大鹿頭印)	五兩六匁(一匹)
仝 上(唫狗頭印)	五兩五匁(仝)
仝 上(三兎印)	五兩二匁(仝)
仝 上(馬狗印)	五兩一匁八分(仝)
上海物(小馬印)	四兩四匁(仝)
米國製雲濟(人馬印)	五兩一匁(仝)

因に以上の綿布は概ね昨年夏以來見越を以て輸入せし品物なるか當時最も多量に輸入せられたるは固より米國品にて(上海經由)其次は上海物とす而して日本製も直接輸入の分と芝罘經由の分の双方を合せは其數量復た大分に之れありたる如しと云ふ

●綿糸の近況 品物は格別に多からさるも賣行はかばかしからさるを以て目下商況は沈靜の方事也從て相場も依然として從前と大差なし即ち左の如し

鍾ヶ淵(壹魚印)	百十三兩五匁(洋裝一梱小王二十入)
立馬(右十六手)	百十一兩(仝上)
印度綿糸(左十手)	九十七兩內外(仝上)

●豆類の現在高 昨今營口に於ける豆類の現在高は三十万石乃至三十四万石なりと云ふ更に其の相場は左の如し

白豆一石	十圓十錢(銀券)	七兩六匁(過爐銀)
靑豆一石	九圓六十錢(銀券)	七兩二匁(過爐銀)

因に目下は奉天、遼陽邊の所謂地車の出荷も甚た減少し一昨日の如き僅に六臺の入荷ありたりと云ふ

●岡山孤兒院一行の來營 岡山孤兒院事務員入江大九郞氏等一行昨日大連より來營し昨夜當地の主なる人個事館に集り不日開催する同院慈善幻燈會に付き豫め協議をなせりと

●電話交換加入者の募集 營口軍政署電話局に於ては本紙公告にある如く今度希望者に電話器を架設せらるゝ由にて望の人は至急申込へしとなり因に二月廿五日以前に申込みあるも未た架設に至らさるものは重て申込を要すと云ふ

●大嶋總督の歸任 曩に東電に接し上京中の關東總督大島大將は去る三日歸任せられたりと

●藤野通譯の解雇 營口軍政事務開始以來支那語の通譯として支那人一体に甚た便利を與へたる通譯中の最年長者藤野貞順氏は今般依賴解雇となり一昨日午後二時廿五分牛家屯發列車にて韓國の途に着けりと

●婦人居住の解禁 鐵嶺以北には婦人の居住を許可せられさりしか愈ゝ來る十三日より昌圖迄婦人の居住地域を擴張せらるゝとなり

●藝妓仲居周易判斷 朴[illegible]老

第三樓 おふじ

本名福間フジエ(明治廿一年九月六日生)

ハテナ第三のおふじさんは、どうしたのであらう、直ぐ明けの日に來る約束で歸つたのに今に出てこないとは扨てはアノ時顏色が惡いと思ふたが病氣でもして寢て御座るのかしらん、何んだ車の音がしたぞ、先生お宅で御座りますか、ヲヽ噂をすれば影とやら實は今お前さんの噂をして居たのだ、どうした大層容子が惡いやうだネ、惡いも糞もあるものですか、年寄りの癖に年甲斐もない、先生あなたはネ、死んでも極樂へは行かれませんよ、之れはしたり愚老のやうな正直一筋の老爺に何の腹立ちで、さういふ惡口を云はしやる、ヘヽー大事件が起りましたな、イーエ何も起りやしませんよ、隱すより顯れやすいそれ〲お前さんの顏にソックリ顯はれて御座るはい、惡い事は出來ませんぞ、何に惡い事を致しました、マア〲一口〲さう八ケ間敷言はしやるナ、よく聞かつしやれお前さんは昨年八月頃天津からこちらへ來さつしやつてから今日迄お役所で居留のお許しばかり願ふて誤娼賣の鑑札を受けずに圖々しくお客の座敷にへイ今晩はと知らぬ顏の半兵衞さんをきめこんで御座つたであらうが、それが此間菊の御紋に目つけられて、とう〲大目玉を戴いて其お土産に二三日以前から外の姐さん同樣に金看板となつて源氏名もお福と改め月に三度の病院通ひもせねばならぬ仕宜となつたで御座らうが、なんと愚老の天眼通には間違いはなからうがな、扨てお前さんの原籍は福岡縣小倉市鳥町十七留地で本名は福間フジエさんと云はしやらうが、ところがお前さんも郁樓米八さんと同樣で本統の御兩親は知れぬ情ないお身の上で御座らうが、何んだクス〲泣いて御座るのかえ、それでは先づ一服致しましやうぢや、サアサ一服吸はしつやれ、ポン〲ながら朝日なんか吞みませんよ、ヲヤ大變贅澤を云はしやるナ(まだ〲)

●小氣餅 伊藤侯が韓國の副王なら袁世凱が北洋の副王であらう併し其器の左迄大きく無い癖に無暗に二人共エラク爲つたのは不思議である

汽車發著時刻表

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至塘沽	下二、四〇	下八、三〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	着	一一、〇九
[illegible]	發	一一、二九

驛名	發着	時刻	
遼陽	着午後	三、五〇	發 四、五五
大石橋	着	一〇、三二	發 一一、三五
金州	着翌前	二、二〇	發 三、一〇
大連	着	五、三二	

上り列車

旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二

營口線下り列車

大石橋	發午前	一、〇〇

天氣

營口地方天氣豫報 自三月六日午後六時 至三月七日午後六時

小説

新作小説　おとし胤（六）

德田秋聲

猿島寛齋は、十五六年目で、また恐ろしい心配をしなければならぬ破目となッた。もう七十三度まで松の下を潜ッたお蔭には、何事にも觀念の眼が開いてゐるから、此の幾年間は、孫娘光の生長を樂むで、殆ど心に何んの煩も無かッた。譬はゞ波の荒い太洋を乘りきッて、安かな港へでも着いだやうに、穩に、靜に、人世の夢の見殘しを夢みてゐるのであッた。何しろ德の高い老人である。若い時から聖賢の教に耳を傾けて、年不惑の域に達した頃には、誰いふとなく「今孟子」と渾名を付けてゐた。固より經世、處世の才とては無いが、其の學問は深い、そして立派な見識もあるのであるから、當世に得難き君子と謂はなければならぬ。

されば洒々落々たる氣風は、自ら面に現はれて、童顏鶴髮、淸癯鶴の如し！といふ風采。何樣な當世俗惡の才子でも、よも此の老人の前へ出ては、長い廣い舌を揮ふことが出來まいかと思はれる。

現に晩景、三人曳の人力車で、此の家の門に乘付けた海鹿家の家扶合田直臣、巧辨猾才を以て處世の奥義と信じてゐる才子が、先づ巳が威勢を示して、此の老人の度膽を拔かうと企てたのであつたが、それは何うやら無駄事となつたらしい。彼は、反つて老人の犯すべからざる威嚴に打れて、思ふまゝに胸を突反らして髯を捻ることすら出來なかつたのである。

何しろ今度の使者の役目は重い。對手は兼て硬直廉潔を以て鳴ッてゐる老人であるから、海鹿家でも種々詮議の結果、特に老人と面識の無い合田を選むでとゝなッたのである。そこで合田は、此の困難なる使命を果して、主公の御感に預からうと思込むでゐるのであるから、それこそ一生懸命である。一世の才辨を揮ッて、奈何にしても頑迷の老骨を說伏せんものと長い道中にも其の策戰計畫に苦心慘澹！

そこで合田は、猿島家へ着いた其の晩、直に談判に取懸ッた。でぐすね引いて、恐ろしい意氣込で、去來談判の口を切ッて見ると、對手は案外手柔である。勿論老人は、首を傾げて少時默ッて考へてゐた。合田は、堅く結んだ老人の口から、何樣な艱かしい理屈が飛出すかと思ッて、眼を爛つかせ、息を潜ませてゐると、

「成程、これは御道理のお話ぢや。君公にも若樣をお出來しなされいでは、お力落しぢやの。お姬樣のお一方もゐらせられぬといふは、能々お子樣に御緣がお有りにならんと相見える……」

と穩な返事。合田は些か拍子拔の氣味で、

「それで何んでござりまする、大殿樣御末子の數馬樣を御順養子とのお話もあつたのでありまするが、何分にも君公の思召が其處にござりません……何うでもお血筋の光樣に御養子をとの思召でござりまする。」

「いや、相解りました。何も君公の有仰とあれば、此の寛齋が彼是申すべきではござらん……一應彼女が心を確めました上で、彼女の異存がござらんければ、お連を願ひまする。」

合田は、重荷を卸した心地である。心配じるより產むが易いとは此のこと。彼は幾度か頭を下げて、

「此く快く御承引下されば、君公にも御滿足でござりませう。お使に遣はされました拙者まで面目を施しまするやうな次第で。」

これで談判は大約纒つて了ッた。談判の要領といふのは、共同墓地で怪しい巨漢が光に話した通り、海鹿家の當主が、其の落胤なる光を迎取ッて、家督を相續させやうといふのであッた。今や光の運命は、光の心一ッで決するやうになッた。巨漢の豫想と違ッて、寛齋は快く光を舊主の手許に送らうといふのである。折角十七の春まで、老の手一ッで育上げた一粒種の孫娘をば、一言の不服も謂はずに其の父に渡さうといふのである。餘程心の潔白な人か、餘程心の汚れた人……所詮榮譽に眼の晦むだ人で無ければ、此うも思切ッたことは出來ぬ譯だ。それで合田は、自分の心に引較べて、

「此の老父、喰はせ者ではあるまいか。」と考へてゐた。其は兎もあれ、光は直に其の場へ呼出されて、簡短に自分の身分と自分の生れた事情を聞かされて、そして其の決心を訊ねられた。其の決心といふのは、田舍に燻つて一生を終るか、それとも父御の手許へ引取られて、華族のお姬樣となるか、此の二ッの一ッを擇べといふのである。

恐らく万人が万人、此の場合に、「田舍に引込むで、安らかに一生を送ります、そしてお祖父樣に孝養を盡します。」と言張る者はあるまい。もし其樣な人がゐたら、それこそ眞箇の天女である。光は固より天女では無い。雖然巨漢に謂はれたことを思出して、少時返事を躊躇ッてゐた。」

□□□□

●鹿爪錄　自分は支那に來てまだ新米の方であるから何んでも支那に來た以上多少支那語の心得が無くちや不便だといふので芝罘で二ヶ月許り先生に就て勉强した▲マア是れなら支那人の店に買物に行けるだらうと思つて頗る得意でズボン下を買ふべく支那人の店に行つたチット大きな店であつたので支那人の番頭小僧が十幾人も店頭に居並んで居る出し拔けに『クーツ有沒有』と尋ねた……勿論褌子を買ふ積りで▲小僧共早速合點して奥へ這入つて行つたコリヤ始めての實地應用に意外の出來だと思つて心密に喜んで居たヌルと小僧共奥から二三人でエンサ／＼品物を背負て來て賣臺の上にどつさり置いたのが十五六足の短である靴驚て『不是長的』と言ふと又輕く請合つて奥に這入今度は長靴を持つて來た▲イヤそれでも無いといへば番頭『これ日本靴あります』といふエー馬鹿野郎と思つたが矢張りクーツであれば仕方が無い他にズボン下を說明すべき言葉も知ら無いので己を得ずズボンをまくつて示したチャン先生始めて解つたと見えて褲子／＼と言つて果ては店中の大笑ひと爲りスゴ／＼歸つたことがある▲是れが支那語を始めて應用して始めて失敗した我輩の歷史である爾來支那語に懲り／＼したので成るべく餘計な事はせぬ方針で支那語は決して話さぬ事にした從つて支那語が一向上達せぬ依然として吳下の舊阿蒙である是れは鹿爪でも無いが御愛敬迄に書いたのである（口口生）

何が美味であらうか

營口で何が美味であらうか簡短に記載して端書又は最寄投書函へ投入相成たし營業屋の自家推薦亦苦しからず……思ひ切て吹聽する程のものあらば、

●小僧の手帖　大阪の人口は目下百二十六萬六千で之を二十九年の五十九萬に比すれば十年間に約二倍以上の增加てある此一事を以ても大阪の發達の迅速なることが分る

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未だ架設に至らざるものは重て申込を要す

明治三十九年三月三日

營口軍政署電話局

東北凶作地窮民義捐者芳名

廣利德	銀五圓
李德三	同二圓
牛冠三	同一圓
茂記號	同五圓
同興成	同五圓
東魁興	同五圓
備昌永	同五圓
天合錦	同二圓
王蓋臣	同一圓
新來春	同四圓
同興公	同四圓
協玉棧	同四圓
大森茂	同四圓
同興茂	同三圓
謙豐久	同三圓
盛記布局	同三圓
和泰乾	同三圓
天興德	同三圓
魁昌湧	同三圓
義順復	同二圓
天增棧	同二圓
東聚永	同二圓
西益盛	同二圓
德永茂	同三圓
泉興德	同三圓
王玉亭	同一圓
玉昌恒	同五圓
東永泰	同五圓
興茂福	同五圓
興記棧	同五圓
劉仍千	同一圓
義順元	同四圓
玉昌棧	同四圓
興合勝	同四圓
協盛豐	同四圓
德盛泰	同三圓
德聚長	同三圓
謙豐泰	同三圓
萬興利	同三圓
魁盛福	同三圓
三合福	同三圓
永遠興	同二圓
益盛泰	同二圓
福興合	同二圓
亭泰棧	同二圓
東記棧	同二圓
合成興	同二圓
義泰慶	同二圓
和泰昌	同二圓
大德元	同二圓
增記金局	同二圓
魁記金局	同二圓
福增慶	同一圓
和生福	同一圓
春發合	同一圓
隆順盛	同一圓
集升成	同一圓
魁興湧	同一圓
人和成	同一圓
錦裕昌	同一圓
雙興福	同一圓
同德義	同一圓
福興茂	同一圓
文勝堂	同一圓
同盛春	同一圓
德勝恆	同一圓
同春堂	同一圓
會春堂	同一圓
遜鬱棧	同一圓
恒增通	同一圓
永泰號	同一圓
福興脉	同一圓
德長裕	同一圓
天合深	同一圓
興懋長	同一圓
保順仁	同一圓
成興魁	同一圓
豐源棧	同一圓
同豐福	同一圓
天隆泰	同一圓
和順長	同一圓
公裕興	同一圓
福增德	同一圓
源成公	同一圓
興隆發	同一圓
玉生東	同一圓
慶亓興	同一圓
永興恒	同一圓
玉發成	同一圓
德發順	同一圓
同興順	同一圓
協順興	同一圓
瑞蘭齋	同一圓
同興福	同一圓
日新當	同一圓
德順永	同一圓
玉記	同一圓
世和園	同一圓
同秦興	同一圓
慶泰恒	同一圓
同慶恒	同一圓
福慶增	同一圓
和記京莊	同一圓
永和成	同一圓
福春長	同一圓
義脉棧	同一圓
天益棧	同一圓
天生永	同一圓
永發祥	同二十圓
廣順號	同二圓
福勝興	同二圓
德合興	同二圓
廣德慶	同二圓
永隆泰	同二圓
增發永	同一圓
大德福	同一圓
豐盛利	同一圓
雲集號	同一圓
和記洋莊	同一圓
德盛號	同一圓
裕慶廣	同一圓
吉興湧	同一圓
恒興源	同一圓
永順泰	同一圓
錦源和	同一圓
天成玉	同五圓
義盛公	同一圓
興記金局	同一圓
義興成	同一圓
寶和堂	同一圓
成春堂	同一圓
福茂盛	同一圓
永聯棧	同一圓
福增益	同一圓
德蔚厚	同一圓
常隆玉	同一圓
永嗣和	同一圓
宏順成	同一圓
天有慶	同一圓
東成合	同一圓
東成玉	同一圓
裕慶東	同一圓
鼎和號	同一圓
南元順	同一圓
泰盛德	同一圓
興記	同一圓
東義豐	同一圓
天咏慶	同一圓
萬德永	同一圓
興順新	同一圓
東盛魁	同一圓
福增德	同一圓
成記木舖	同一圓
聚誠厚	同一圓
義順聲	同一圓
萬利德	同一圓
興盛福	同一圓
新順號	同一圓
萬奐源	同一圓
四合園	同一圓
聚隆元	同一圓
公泰興	同一圓
天生慶	同一圓
和興棧	同一圓
萬興恒	同一圓
聚德源	同一圓
萬德福	同一圓
信益棧	同一圓
孫良韜	同一圓
金正本	同一圓
德泰恒	同一圓

計三百四圓

累計四千七百八十五圓九十五錢

誤り　一、二月廿七日掲載奉天岡村銑介は岡村銳介の誤り

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專管居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尙構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究罷在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

建築設計依賴に應ず

營口永世街二本町二百五十八號　工棟組

競爭入札廣告

第一號　生牛皮　約二千枚
第二號　生羊皮　約四百五十枚
第三號　生豚皮　約四百二十枚
第四號　癈品烏拉靴　約一萬足

以上入札保證金各見積代金百分の五以上

右賣却す買受望みの者は二月二十五日より三月十一日迄に當支庫に出頭入札心得書契約書案及現品熟覽の上三月十二日午前十一時迄に入札書を當支庫に差出すべし即時開札す

此契約は滿洲軍倉庫長橋元勝造擔任す

明治三十九年二月二十五日

滿洲軍倉庫奉天支庫

拍賣告白

告白奉天滿洲軍支倉庫官署准於（日曆三月十二日中曆二月十八日）拍賣左開牛羊猪等皮貨有願包買者自日曆二月二十五日（中曆二月初三日）起至（日曆三月十一日（中曆二月十七日）止請到該署詳看貨物及呈單條規契約樣式等書限於日曆三月十二日午前十一時（中曆二月十八日上午十點鐘）呈單即時拆封定局呈單者必要將遞價百分之五定銀先交作押如無成局仍將原定繳還立契官滿洲軍倉庫奉天支庫長橋元勝造

開
第一號　生牛皮　約二千張
第二號　生羊皮　約四百五十張
第三號　生猪皮　約四百二十張
第四號　烏拉靴　約一萬雙
計

明治三十九年二月二十五日
光緒三十二年二月初三日

右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候

消火器

英治洋行　營口西北街

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街　ブシツ商會東

喜川鐵工場

御手輕料理

一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候

月　日

營口元神廟街二〇九號

翁亭

○フレノロジー

○西洋揣骨相術　運命窮通歷々指陳如神矣
○人々の頭腦を觀測して身の上ばんだんをなす
○觀測料隨意

營口豐濟門街第四十四號李後氏宅の西半丁　利生堂

一昨夜失火の際は皆樣の御盡力に依り幸に倉庫のみにて鎭火仕候段奉難有存候一々拜趨御禮可申上筈に御座候へ共取込の際貴名伺洩れも可有之と存候間此段以紙上御禮申上候

追而座敷むき等には毫も故障無之從前の通り引續き營業罷在候間不相變御引立の程奉願上候

二月六日　營口二本町　祇園閣

旅館讓渡

新築　客室十五間

雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業其儘讓渡し度御企望者は御來談を請ふ

奉天小西邊門外拾間房　浮世館

御旅館

天津

芙蓉館

駐屯軍御用　並西洋料理

會席料理

三日月

營口警務課前南に入る

滿洲大販賣所

營口 池上出張店 (張松林邸內)

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

雜貨 醬油 すし米 水炭 清酒 大樽 半樽

營口西北街

阪神組

雜貨卸商

在元神廟營口街

關東公司雜貨部

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

あさだあめ 淺田飴

肺癆痰喘氣急傷風積嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

永世街 東瀛大藥房

房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石 並に自家製造 瓦、煉瓦 廉價販賣

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

宗旨 造成辨公實業家

學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操

學額 五十名

資格 十五歲以上文理明通者

學費 特免惟寄宿弁生自備饌資餘皆本校墊辦

入學 陰曆三月初一日

夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり

スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり

スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣 關東公司雜貨部

醇良自釀清酒

札幌ビール

朝日ビール

口付莨大和

酢 醬油瓶詰樽詰

菓子 鑵詰 色々

洋酒類

右取次販賣

宅合名會社 營口支店

牛莊港東營口

ゼム財茉口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑

財茉者芳香馥郁而美味可愛靈約也

大清國發賣處 淺野大藥房

營口永世街(二本町) 各國有名靈藥總發賣處

大日本東京 山崎愛國堂 大藥房處修

營口中央市場前

萬事勉强乘車乘船好位置

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)

即席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

西洋料理仕出し御需應にず

京北 東單牌樓大街路西

扶桑旅館

客室清潔料理鮮新

營口

本店 彌生 電話四一番

支店 彌生 鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

一位置 西門より西の方五六軒北側に候

一構造 室內裝飾等日本式 特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし

一待遇 は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

館主宮下只七郎

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔

接待優遇懇切

開放仝時ニ開業

奉天小西門外ナ街路北

官製口付莨、文房具

和洋酒類 白米

鑵詰、菓子 藥品、雜貨 醬油瓶樽詰 卸商

防寒具、安價販賣

營口西北街

豐生洋行

(電話十三番)

軍隊用雜貨

日用品雜貨

吳服太物類

化粧品類

陶器類

食料品類

卸小賣

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場東)

石原商店

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

上海

中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

時刻

塘沽至北京　上六、〇〇　下一二、〇六
天津至北京　上二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝邦子至新民屯　上三、〇〇　下六、五七

奉天　發午後　一二、〇六
上り列車
溝　天　着午前　一一、〇〇

大連　發午前　七、三〇
旅順　着　一〇、四九

營口　發午後
大石橋　着翌前　一〇、二五　一二、二〇

豫報

昨日の氣溫
最高溫度三十七度〇
最低溫度五度二
昨年との比　八度〇　低四度八

宮門抄

初九日
內務府　廂藍旗値日吏部引　見二十五名　山西巡撫恩壽請
訓　毓朗請假五日　良泰續假五日　掌儀司奏十一日祭
奉先殿備具子行禮
召見軍機　恩壽
皇上明日卯初二刻升
中和殿看版畢還海
王步瀛遞封奏一件

上諭恭錄

初九日奉
旨大理寺卿着管廷鶚補授欽此
旨翰林院侍講學士着世榮補授欽此
旨太僕寺卿着慶綿補授欽此
旨光祿寺卿着左孝同補授欽此
上諭安徽巡撫着恩銘補授迅速赴任欽此
上諭載瀅之第三子着命名溥僖欽此
上諭宗人府府丞着陳名侃補授欽此
上諭江寧將軍着誠勳補授未到任以前着振格暫行署理欽此
上諭此次京察引見年至六十五歲以下之戶部郎中世昌等均着照舊供職不到之戶部主事姚榮壽着該部照例辦理欽此

論說

論中國謠言四起之可憂

本館昨接北京來電。謂近日人心浮動。謠言四起。或云革命匪徒五百人。不日侵入京師。故日夜戒嚴。巡警皆挾彈持槍以待。而外人之居留中國者。咸惴惴焉設衛防備。德國使館。由天津運來巨礮一門。以爲攻守之具。此事之實與否。吾雖不敢預知。而以首善之區。爲萬方觀望之所集。致浮言迭起。一犬吠影。百犬吠聲。附和雷同。如黃河決堤一瀉千里。其信者引爲杞憂。不信者傳爲笑柄。豈國家之福哉。又豈四萬萬國民之福哉。夫國家之强弱。視國民程度之高下。爲比例差。禮曰吾觀於鄉而知王道之易易。又曰入其國其敎可知也。民氣日興。民心自古。父與父言慈。子與子言孝。傲慢邪僻之氣。自無由而生。故甫田之詩曰。攸介攸止。烝我髦士。都人士之詩曰。行歸於周。萬民所望蓋士習端而民風撲也。孔子欲致東周之治。特發明異端害世之旨。孟子述之。於正人心、息邪說。拒詖行、放淫詞之意。七篇中三致意焉。一其言生於心而害於事。發於事而害於政。爲千古人心風俗計者。意蓋深且遠矣。我朝深仁厚澤。耳濡目染者。已二百六十餘年。應無有梗頑不化之徒。竄伏山谷。煽惑愚蒙者。此如光天化日之下。魑魅魍魎。望影而自消耳。況自海禁大開。列强環伺。禍患迭出。事故屢逢。我國人之受其影響。蒙其損害者。已屢見不一見矣。而庚子一役。九廟震驚。兩宮西幸。國勢之摧殘。人心之萎弱。已岌岌乎危如累卵。向之所恃爲廣土衆民。龐然自大者。卒已悟其爲非計。凡我同胞。苟非如木如石之心肝。如紙如泥之軀幹。未有不創鉅痛深。自怨自艾。團結其團体、振刷其精神。奮厲其心思。改良其資格。發國家之思想。而不僅有個人之思想。謀國家之利益。而不僅求個人之利益。蓋不如是不足以捍大患。彌大難。與白色人種。比權量力。使中國龍章。仍振耀於亞東大陸之上。而吾民之慘被毒害。又將爲有目所不忍視。有耳所不忍聞也。今謠言之起。雖只在於一偶。然不急爲防之。其害正未知所止也。勿謂一簣小。積之將成邱陵。勿謂涓滴微。合之將成江海。物必先自腐也。而後虫得而生之。木必先自朽也。而後人得而敗之。譬之江河。方其微波不興。一碧如鏡。固可狎而玩也。有風以鼓之激之。則怒濤撼山。高浪蹴日。奔騰澎湃。摧楫壞檣。覆舟溺人。其危險殆不可名狀。此有識者所以撫時感事。而於謠言之起。戚戚然深以爲憂也。夫謠言者。無稽無據。忽焉而生。雖不知其所自起。要之皆好事之人。信口虛造。愚民從而信之。言入於耳。聲退於心。一二人倡之於前。千百人和之於後。朝發一隅。夕徧千里。其煽動也。速於置郵。粤匪之始。拳亂之萌。何一非此嘵嘵之口。致紛紛擾擾。橫被其毒於天下乎。有化民成俗之責者。其速思正風俗以正人心。正人心培國本。而無令此影射之談。致釀成變亂之禍也可。

東京電報

●奉天戰役奏殊功者之叙勳

日俄戰役告竣日政府考查勳績刻已就緒就奉天一戰而論有勳績者計三萬人不日將論功行賞云

●太后降保護教士之旨

中國排外氣勢日張　太后深爲軫念頃下　旨著軍機大臣保護教士如有違背者即嚴加戒飭云

●趙次帥等奏請設立會社

奉天將軍趙次帥與吉林將軍達馨帥黑龍江將軍程雪帥會銜奏請在東三省設立紳商合辦之汽船會社云

●受領從軍徽章之員數

此次日政府將參加日俄戰役之將卒授與從軍徽章計其員數有一百二十餘萬人之多云　(西三月六日發)

中外要聞

●俄約消息　內廷消息　兩宮日前面諭慶邸謂此次中俄議約俄人無論如何要求庫倫恰克圖路權中國決不允許又聞中國議約大臣與俄開議甚不關心(因俄公使曾有秘秘運動之事)惟　皇太后屢　召見慶邸瞿軍機作速與俄定約是以外部屢催俄使開議云

●馬路工程暫停　西直門外馬路工程暫行停止聞官場人云三月初四日　太后往頤和園駐蹕係乘船前往云

●擬贖科布多地　昨聞俄北館人云日前俄主教派人送科布多地字一紙請璞公使向外部大臣議商俄主教仍願將此地賣還中國(聞此地共十八頃五十畝零原價不知)

●江西教案　軍機大臣面奉　諭旨傳知外部速電江西巡撫查挐傷斃教士匪徒勿任潛逃等語旋由外部接江西巡撫來電稱將兇匪捕獲俟將餘黨審出並查明教堂財產再行覆云云　又昨英國欽使至外部會晤稱南昌牧師傷生辱教實出情理請外部准其用兵勳捕決不擾害地方等語外部堂憲答以本部實不願民教相仇釀成交涉貴國牧師傷生情尤可憫貴公使請先回館俟本部電詢江西巡撫查明案由再向貴公使會議云云

●肅邸緩行之原因　茲聞理藩院消息肅邸緩行查辦蒙古事件係因中俄開議以蒙地條欵最爲吃緊肅邸雖往蒙地查辦亦無從下手須俟俄議有眉目肅邸再行前往云

●派員探病　昨外部堂憲派塔克什訥至俄館探問璞公使病愈否聞塔君回署言俄公使並未相見但傳告病尙未愈云

●革除徵收宿弊　政府議擬廣東四川之省徵收銀米之弊並未革除收本色則浮加斛面收折色則高抬價銀以及管倉家丁倉書斗級各項陋規合算民間納米每石費至加倍有餘其上司衙門所用食米名曰發價其寔繳還種種弊端若非嚴加整頓何以除民困於將來論飭督撫澈底淸厘務令弊端剔除苛索永蠲於地方有益如再有玩忽者則咨在督撫云云

●推廣實業學額　政務處各大臣會議現在實業學堂之學額較少需學者多擬再酌量推廣以資培植人才已會同學部大臣妥議定期入奏

●解欵造册　聞軍機大臣會議通飭各省所有常年例解部練兵處經費各項雜欵通盤核算飭令每省應解之欵若干數目一一分晰造册送戶部以備查核云云

●招練駐屯滿洲兵隊　政府議練駐屯滿洲兵隊苦無經費故未實行茲提取關內外鐵道餘利以練滿洲之兵將議始招募云

●擬改良學務　聞學部內向設有六堂科學近日榮尙書頗議變更仿照各學堂章程試辦添設各課數門學堂內一切辦法未能盡善聞有某堂隨代司員赴天津考查制度以便仿照辦理云

雜報

●塾師罷學　聞田莊台有塾師某招集村童十數人正皐比擁時忽來捕役聲言拿某塾師以其私自立學非禀請設立之學堂也該塾師刻已在逃致民間子弟不得不廢業而嬉按科舉已停學堂自宜早設而蒙學尤爲敎育普及之要點其尙未立學之處與其嚴禁私塾似不如改良其敎法之爲妙未審該塾師果有他故否抑或該捕役等在鄉訛詐乎想該縣大令熱心敎育必另有一番振作云

●鬍匪又出　瀋陽來人云距瀋城南二十餘里有紅鬍子六七十人在四方臺攔路搶劫來往裝貨之大車共聚一二百輛被紅鬍子搶去牲口五六十匹來往行人甚爲不便云

●商務調查　本日集市上車五六輛元豆六吊五百紅糧五吊二百邊車共來三四十輛元豆六吊五百安出地載小麥三百石價銀十三兩昨午後由秦王島發來大尺布套布三百件洋線粗布二百件

●河北來載　昨日河北汽車由新民屯運來紅糧袋包八百餘件由秦隍島運來洋綫四百餘捆梁州土藥八箱銀圓箱子陸箇全行撥過埠岸云

NEWCHWANG, WEDNESDAY, MARCH 7, 1906.

THE RUSSO-CHINESE CONFERENCE, (PART V.)

The most difficult position in which the Chinese statesmen now at the helm of the State are placed call for sincere sympathy from their wellwishers and those of China. Presumptuous as it be, we shall submit to them a few suggestions on the only way to get out of the present difficulty.

Firstly, in order to turn a united resolute front against the apparently unrepentant Russia, all personal interests and differences must be submerged.

Secondly, the subtle mischievous machinations behind the Throne must be shattered, that, being so susceptible to bribery, flattery, or threats, are ever ready to sell China in consideration of a cheap bait to their mean ignorant selves. A similar agency has precipitated Korea's downfall. All powerful caprices of feminine weaknesses may have to be reckoned with in breaking this agency. But they need to be sacrificed, when China in the balance is facing a complete dismemberment. Were life in danger, painful surgical operations must be undergone to save it, and the hands and legs must go if they must.

Thirdly, in Ili, Mongolia, Manchuria, and not omitting Peking even, China has suffered so from her weak corrupt officials, who, like their Korean brothers, have turned traitors and become tools of their country's enemies. It may be imagined how fat bribes and sweet promises must be dangling thick to hook up whoever worth tempting these days at Peking of all places. 5 million taels or billions of them for that matter may be an irresistible offer to an individual or even to the empty Peking treasury, but is none the less too moderate a price to buy the Empire of China with 400 millions of people. One Judas Iscariot vested with proper authority would be enough at the present crisis to nail up China on the tree of perpetual slavery. The patriotic authorities should look out sharp for any such false servant, who, once caught, ought to be removed from his office and put to deserved death, proclaiming that the new awakening China shows no quarters to a traitor, be he a Minister of the State or even of the Imperial blood.

Fourthly, bitter as it be, the Chinese statesmen are compelled to admit that China is not yet prepared to take single-handed the Cossack bull by the horns and force him to her terms, though force him she must now. She needs outside help, although not necessarily in force, at least in the shape of potent moral support. The all important question is, "In which direction should she turn?"

"Look well before you leap," lest you should fall into the waiting trap. The mourned Li Hung Chang, with all his greatness, blindly flew one evil moment into the arms of the 'Interference Clique' and ground China through the mill of the all but fatal tragedy lasting for a full decade before peace returned last year. To make a safe support for the weak, trustworthiness must be combined with physical strength. Korea has fallen from leaning upon Cossack's brute strength. The great Li rashly committed the very same blunder, apparently not pausing to see through so much as the thin film of Cossack's transparent game.

A similar error must not be repeated now of all times, or else the new born China would be butchered in her infancy.

Any Powers fired with undue ambition of aggression must be politely but firmly discarded. Just trace back China's past experiences with the Powers to decide upon which of them must be shunned. Study the Moroccan question also from its origin and how it has been developing itself at the Algeciras Session, in order to tell which Powers have betrayed their ill-disguised thirst for gain and blood with supreme disregard to the others' rights, making their association extremely dangerous to China.

Silver keeps declining! It had a bad fall of 1 sen on the 5th. and stayed there yesterday, the sport of the fickle market.

EXCHANGE QUOTATIONS—Mar. 5, 1906.

JAPAN	Bank T.T.	99 1/4	LONDON	Bank T.T.	2/- 5/16
	" Dem'd	99 1/2		" De'd	2/- 3/8
	P'ate 15 d/s.	100		Cr. 4 m/s.	2/- 15/16
SHANGHAI	Bank T.T.	70 3/4	AMERICA	Bank T.T.	49 1/4
	" Dem'd	71		" Dem'd	49 1/2
	P'ate 15 d/s.	72		Cr, 4 m/s.	50 3/4
TIENTSIN	Bank T.T.	102 1/2	Bar silver	- -	30 1/8
	" Dem'd	102 1/4			
	P'ate 10d/s.	101 1/4			

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川無三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

京東 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街龍の湯角

御料理 叮嚀專一 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 並ニ温泉 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝圓捷

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

旅館 富喜樓

室内は極清潔防寒之設備あり 鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候

鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

御旅館 豊陽館 上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乗船取扱 館主 米田藤吉

西海洋服店 歐米各國最新流行形 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

お料理 滿月 滿月支店 店主

和洋御料理 會席

一 弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

二 奉天支店も本店同様に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）

奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）

各位様

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ

●活動大寫眞

（日俄戰況幷ニ餘興元祿踊等種々）

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合

一 關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一 海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ

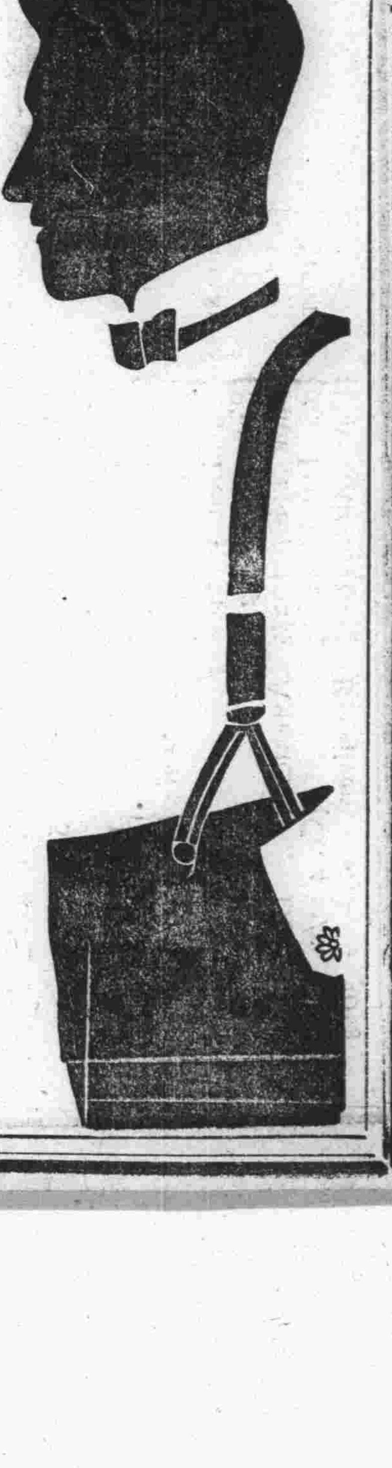
一 鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一 船舶貨物取扱

一 其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號 大清通運公司 營口支店



新着！

舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、

雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、

貰入、蒔繪貰入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、

元祿模様、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、

鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髪道具類、

春模様新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、

營口 加藤洋行（電話八十番）

發賣 料木 標子 木板

塩川商會

清國營口二本町二五五號 主任 鹽川峰吉（電話一三六番）

遼陽小西門内 鹽川商會

●建築用材北海道産松大角（自二十五尺至三十尺）一万立方尺餘

電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本 外に

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓

○上等日本米 二石に付 銀二十圓

○板材木 ○木炭 ○亞鉛板 ○洋釘 ○干鰛魚 ○石灰

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

標子 木板 發賣 料木 營口青堆子 清水寧木局

為替相場（三月三日）

日本向 一百圓 五十錢（軍票百圓に付）

上海向 七十一兩（同）

天津向 一百〇二圓二十五錢ヘ（百弗に付）

芝罘向 天津向ト仝

日本品最近物價（調査 加藤洋行）

紙類

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 仝 七圓五十錢

一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

一狀袋 仝 二十枚續 三錢二厘以上四錢

仝 百枚 十三錢以上十八錢

室内装飾品及寢具 矢野洋行

一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓

一[illegible]

一疊 二圓六十錢以上三圓

一薄縁 十枚 八圓

一麻緞通 一疊敷 三圓

一綿緞通 仝 三圓五十錢

一由加多織 仝 [illegible]

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙